

■ 人物紹介

生没年：1885-1957

ジャンル：評論・随筆

ゆかりの地：萩市

大正から昭和にかけて活躍した音楽学者、評論家。

明治18年11月22日、阿武郡萩町土原に生まれる。京都帝国大学哲学科大学院まで進んだのち、東京音楽学校でピアノを学び、ドイツへ留学して作曲と音響心理学を修め、帰国後に博士号を取得した。

音楽、文学、歴史、数学や物理学など多岐にわたる分野で学際的な活動を行い、多くの評論・随筆を残した。また、未完に終わったが民謡の研究でも知られる。

昭和32年4月24日没、72歳。

参考文献

『やまぐちの文学者たち 追補版』

(やまぐち文学回廊構想推進協議会 編集・発行 2019 請求記号：Y910/P 9)

■ 資料紹介

◆主な伝記

『兼常清佐』

(三好健二 著，萩ものがたり，2015，請求記号：Y274/N 4)

萩時代（幼・少・青年期）の様子を中心に、ゆかりの人物などを紹介した小冊子形式の伝記。略年譜あり。

『未完の独奏』

(兼常清佐 著，大空社，1996，請求記号：Y760/M 6)

兼常の同名の自伝の復刻版。幼少期からの半生を綴ったもの。

『音楽格闘家兼常清佐の生涯』

(蒲生美津子 著，大空社，2013，請求記号：Y762/P 3)

兼常の研究者による詳細な伝記。兼常の手紙や年譜を収録し、索引や参考文献が充実している。

◆作品集など

『音楽と生活』

(兼常清佐 [著]，岩波書店，1992，請求記号：Y760/M 9)

兼常の同名随筆集を文庫化したもの。音楽や人物、好きだったビールのことなどを綴った随筆を収録。

『兼常清佐遺作集 上・下巻』

([兼常清佐 著]，中央公論社事業出版，1960，請求記号：R760.4/J 0)

兼常の没後に、遺稿をまとめて刊行したもの。上巻に民謡関係、下巻にピアノ関係の著作と日記・書簡の一部を収録。

『兼常清佐著作集』

(兼常清佐 著，大空社，2008-2010，請求記号：R760.8/N 8)

兼常の主要な著作をまとめた著作集。全16巻。別巻には、総目次、解題と、兼常を論じた論文や評伝、著述目録・年譜を収録している。

◆研究文献など

『近代日本における音楽観』

(蒲生美津子[ほか] 著, 蒲生美津子,
2007, 請求記号: Y760/N 7)

兼常の研究者による研究成果報告書。兼常についての研究論文や、遺品、蔵書などの目録を収録。

“国立国会図書館サーチ”

(国立国会図書館)
<https://ndlsearch.ndl.go.jp/>



国立国会図書館、都道府県立・政令指定都市立図書館、大学図書館などの蔵書や、雑誌記事、デジタル化資料などを広く検索できるウェブサイト。兼常に関する資料を広く探すことができる。

◆文学館・史跡など

“萩博物館” (萩市)

<https://hagimuseum.jp/>



兼常に関する資料や自筆原稿などを所蔵している。その概要は、前掲『近代日本における音楽観』p67-71に記載がある。

- このほか、当館ウェブサイトや館内の蔵書検索機の「なんでも検索」で「兼常清佐」と入力して検索すると、関係する資料を幅広く探せます。

ウェブサイトの最終確認日：2026年1月23日

■お探しの資料が見あたらないときは、当館職員へお尋ねください。

山口県立山口図書館 総合サービスグループ
TEL：083-924-2114 (調査・相談)
FAX：083-932-2817
WEB：<https://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

かねつね きよすけ 兼常 清佐

について調べる

- 兼常清佐の作品を読んだり、彼について調べたりするための、基本的な資料をご紹介します。
- ここで取り上げた資料は2階の「ふるさと山口文学ギャラリー」「山口県文学」の本棚や、書庫にあります。
- この他にも、関係する資料があります。くわしくは、カウンターの職員にお尋ねください。

作成日：2026年1月23日